

第74回大会 TEAM FUKUOKA NEWS

福岡県選手団サポートニュース H31.2.4 Vol.4

上地・竹野 圧巻の演技 堂々2位!

昨日のショートプログラムで、団体2位につけて迎えたフリースケーティング。第3グループに登場した上地選手は、伸びやかな笑顔弾ける演技を披露し、個人8位。最終グループには、ショートプログラム個人2位の竹野選手。観衆を魅了するステップワークとスピンを披露し、並いる強豪を押さえ、堂々の個人1位となった。本県は総合順位でも見事2位となり、21点を獲得した。

試合後、両選手は**本県フィギュアチームの強さ**について、「種別を問わず、チームワークがすごくいい。素晴らしい指導者に恵まれ、一丸となって戦っている。」と語った。また、大学4年生の上地選手は、この大会をもって競技選手としては退く予定。有終の美を飾った上地選手は、「ジュニアの時から竹野さんとはずっと一緒だった。この大会でペアを組めて、また、素晴らしい結果を出せて、本当に楽しかった。」と喜びを語った。

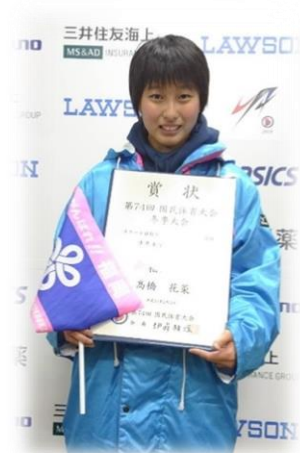
★本県フィギュアチームの近年の戦績

	H28 (71回大会)	H29 (72回大会)	H30 (73回大会)	H31(74回大会)
競技得点	60点	30点	45点	51点



【竹野選手（左）と上地選手】

ショートトラック少年女子 1000m 高橋花菜7位入賞!



【高橋花菜選手】

2日午後からショートトラック競技が始まった。1日の公式練習では、釧路の氷の固さに戸惑いもみられたという。まずは、1000m 予選。本県からは、全4種別に各2名がエントリー。そのうち6名が準々決勝へ。そして、準決勝を経て、少年女子の高橋花菜選手（九州産業大学付属九州高校）がB決勝の舞台へ。この日、4本目のレースとなった高橋選手は、「準々決勝やB決勝では、前半から飛ばしすぎたので、後半は足がついてこなかった。明日は得意の500mなので、ぜひともA決勝に残って上位に食い込みたい。」と力強く語った。本県トップアスリート育成強化事業強化指定選手である高橋選手の明日の滑りに期待する。



【高橋花菜選手の滑り】

